

広報 **ふじ**

平成16年

11 | 5 No.859



バスや電車に乗って市内めぐり

ワンデイ トリップ
1 Day Trip チャレンジャー

10月16日

主な内容

特集 あなたはバスに乗りますか？

地域社会貢献者褒賞表彰



特集

あなたは バスに乗りますか？

私たちの足として利用されてきた路線バス。

市民の生活の中で、路線バスは公共交通の一つとして、大きな役割を果たしてきました。

しかし今、利用者数が大幅に減っているなど、路線バスは大きな岐路に立たされています。

今回は、この路線バスについて一緒に考えてみませんか。

富士市は自動車がとても多い街

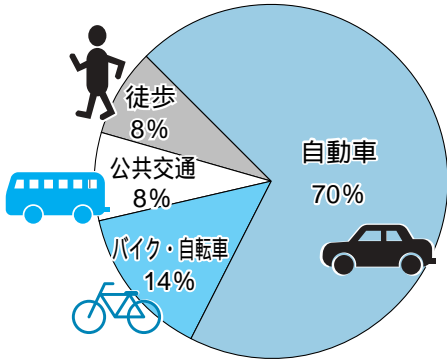
富士市は一世帯当たりの自動車保有率が県内ナンバーワン

自動車を持つ人は年々ふえています。平成十二年国勢調査によると、市民の約七割の人が、通勤・通学に自動車を利用しています。路線バスや電車など、公共交通の利用率は一割にも満たなく、富士市は自動車への依存度が非常に高い街であることがわかります。

また、一世帯当たりの自動車保有台数は、県内で一番高く二・二九台。昭和四十五年ごろは一世帯に一台程度でしたが、今では一人一台という時代になってきているようです。

自動車は、自分たちの行きたい場所へ好きな時間に行くことができる自由で便利な交通手段。自動車の便利さを覚えた私たちは、路線バスを見つめ直すことができるのでしょうか。

富士市民の通勤・通学の利用交通手段

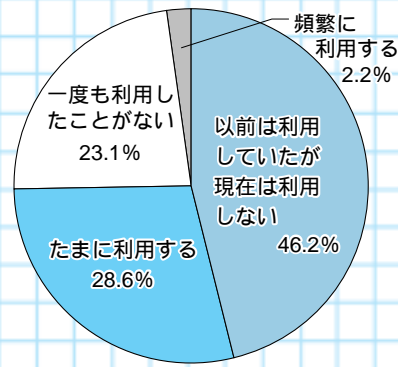


「平成12年国勢調査」から

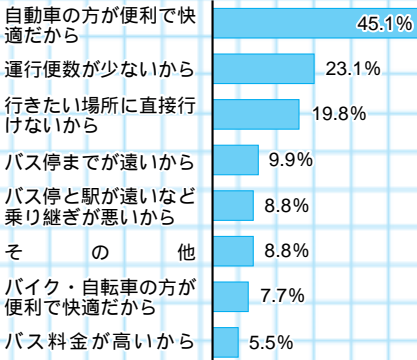
市政モニターの皆さんに聞きました

市では、市民の声を聞くために、市政モニター制度を取り入れています。昨年、市からのアンケートに答えていただける人を百人募集しました。今回は、路線バスについて聞き、九十一人に回答していただきました。小点数以下二けた線り上げ

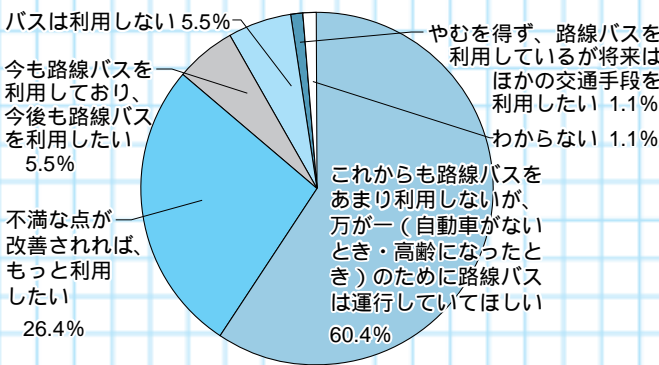
Q あなたは路線バスを利用しますか



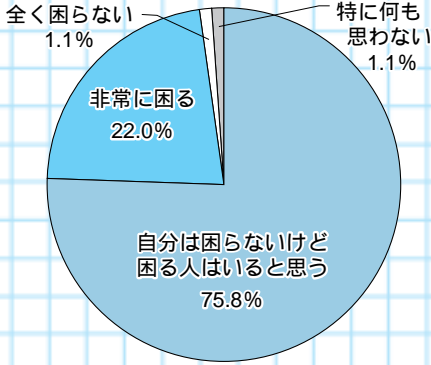
Q あなたが路線バスを利用しない理由は何ですか（複数回答可）



Q 路線バスに対する考え方を教えてください



Q 富士市内から路線バスがなくなったらどうしますか



自由意見

人がほとんど乗っていないバスを見かけると、もったいないと思います。（三十四歳・女）

路線バス問題は大変難しい問題ですが、公共の福祉という面から考えれば、市の財源を投入しても継続は必要だと思います。（六十三歳・男）

富士市にこれだけの人口があるながら、バス利用者が減っているのは人の流れが変化しているからだと思います。バス会社は他県や外国の事例を学び、努力する必要があります。（三十六歳・男）

都会では、バスの利用者は、かなり多いように思います。家用車の維持費、健康、環境などのことを考えると、これからの時代は、バス利用の促進について行政も考える必要があると思います。（五十三歳・男）

子どものころ、バスはあこがれでした。でも、今はバスを利用していません。地域の状況に合わせた運行を行えば、利用者はもっとふえるのではないのでしょうか。（三十九歳・女）



私の主な交通手段は自動車です。勤め始めたころは、通勤に電車やバスを利用していました。が、所要時間がかかってしまったり、何か用事があるとき自由に移動できなかつたりすることから、自動車通勤するようになりまし
た。

町中に住んでいるため、バス停も近く、バスの運行本数も多いのですが、目的地までどのような路線で行けばいいか、どのくらいの時間がかかるのかなどがわからないので、バスの利用は敬遠してしまいます。

高校生のときには通学などでバスを利用する毎日でしたが、今では自動車のない生活は考えられません。

やはり、自動車は便利ですね

自動車通勤をする
伊藤 由季子 さん(本町)



路線バスを利用しない理由

市民は、あまり路線バスを利用していないようです。そこで、路線バスを日ごろ利用していない人に、話を聞いてみました。

自動車を運転できる人が頼りです

自動車運転免許を持たない
鈴木 雅子 さん(大淵)

私は、十六年前に高山(青葉台地区)に引っ越してきました。以前は津田に住んでいたのですが、生活圏は徒歩や自転車で移動できました。しかし、今は坂の多い土地に住んでいるので、徒歩や自転車は大変です。自動車運転免許を持っていない私は、買い物や通院など外出するときは、移動手段を考えなければなりません。

現在、どこかへ行くときは夫や友人、近所の人など、自動車を運転する人に乗せてもらいます。どうしても手段がないときには、バスを利用することがありますが、近所を通る路線は運行本数が少なかつたり、目的地に着くまで時間がかかつたりするので、利用するのをためらってしまいますね。

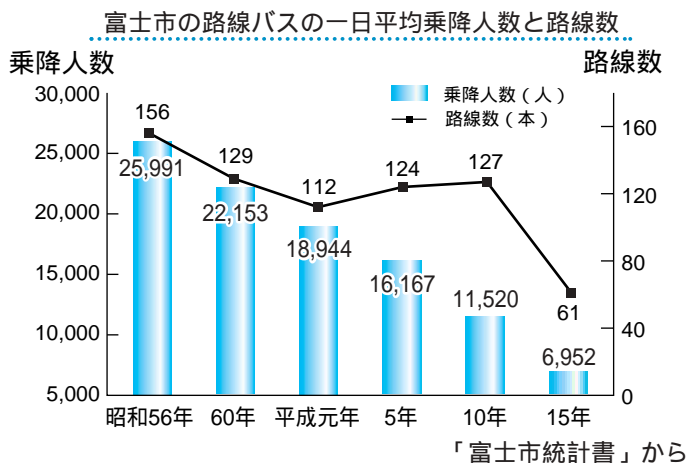


路線バス利用者は減っている

利用者は十年前の約四割

このままでは路線バスが消える？

路線バスの利用者は、昭和四十三年をピークに年々減少しています。平成十五年の一日平均乗降人数は約七千人で、路線数は六十一路線。十年前と比べると、乗降人数は約四割、路線数は約半数に減少しています。



平成十二年五月、道路運送法が改正されました。この改正により、路線の廃止や変更の手続が変わり、事業者は採算の合わない路線を比較的自由に廃止でき、また事業者の資格があれば、新規参入が自由に行えるようになりました。この改正に伴い、市内のバス会社である富士急静岡バスは、廃止などの路線整理を行いました。

このような中、市では市民の足としてバス路線を維持するため、富士急静岡バスから運行支援を求めるとして、補助金を交付し、支援を行っています。

市で支援しているものの、利用者が減ると、バス会社は路線や運行本数を減らし、路線バスが不便になり、ますます利用者が減るといって、悪循環が生じてきます。



路線バスの理想は、利用者をバス停で待たせないことです。しかし、市内を走る路線バスはそのような状況になりません。

私たちは一企業であるため、採算が合うように運営していかねばなりません。一運行に利用者が一人二人ではその路線は赤字になってしまいます。現在、富士駅と吉原中央駅を結ぶ路線など、利用者が多く赤字を出している路線もありますが、ほとんどの路線は赤字です。

悲しいことですが、現状では外出するときの交通手段として、路線バスを考へる人は少ないのではないのでしょうか。

か。皆さんが交通手段の一つとして、選択肢に路線バスを挙げるようになり、富士市を静岡市や浜松市のように路線バスが活発に走る街にしたいですね。

そのために、利用者の声を参考に路線や時間を変更するなど、いかに利用していただくかを日々検討しています。しかし、自動車という便利な交通手段が発達した今、私たちバス事業者だけでは路線バスを守ることが不可能です。少しでも路線バスを利用する人がいれば、路線バスがなくなることはありません。今後は行政や市民の皆さんとともに、路線バスを守っていききたいです。

静岡や浜松のように

路線バスが

活発に走る街にしたい



富士急静岡バス
代表取締役社長
早川 好彦さん



街から路線バスがなくなったら

年々、利用者数と路線数が減少している路線バス。一体、どこまで減ってしまうのでしょうか。私たちの街から路線バスがなくなってしまうたら...。皆さんは、どう考えますか。

交通弱者の存在

路線バスを頼りにしている人たちが

子どもやお年寄りなど、自動車を運転できない人がいます。路線バスの利用者が減少していると言っても、路線バスを頼りにしている人たちがいます。路線バスがなくなると、自動車運転免許を持つ家族に送り迎えを頼まなければならぬなど自由に外出できなくなり行動範囲が制限されてしまいます。

いつまでも自動車を運転できない

市民の多くが自動車で移動している街、富士市。今は自動車で移動できるので、路線バスなどは必要ないと考えている人がほとんどだと思います。

しかし、いつまでも自動車を運転できるとは限りません。高齢になると、とっさの判断力などが低下するため、いつかは自動車運転免許を警察に返す日が来るかもしれません。もし自動車を運転できなくなったらどうしますか。



人とのふれあいなどよい経験ができます



バス通学をしている
内山 友香理さん(本市場)

私は、通学にバスを利用しています。自転車で通うことも考えましたが、自宅から高校まで遠いこともあり、バスで通うようになりました。私の通っている高校では、自転車通学の人が多いのですが、雨の日などはバスで学校に来る人がふえますね。親に送り迎えしてもらおう人もいますが、両親が働いていると難しいですよ。

バスに乗ると、ふとしたことから、ほかの乗客と話をし、ふだん話をしないような人とふれあえます。また、お年寄りなどに席を譲ると、照れくささと同時に、温かい気持ちにもなれます。バス通学では、ほかではできないようなよい経験ができるように感じます。



目ぐるバスを利用する
自井 五郎さん(三ツ沢)

私の移動手段はバスです。主に、買い物や病院に行くときに利用しています。目的地に着くまで時間がかかったり、途中でバスを降りかえなければならなかったりしますが、なれてしまえば不便さを感じません。また、友人の勧めで二年ほど前から、七十歳以上が利用できるシルバーパスという定期券を使っています。この定期券は決められた乗車区間がなく、どこでも自由に乗れるのでとても便利です。

外出できます

路線バスのおかげで





衰退してしまう市街地

中心市街地ににぎわいを取り戻す

市では、「中心市街地活性化基本計画」を策定するなど、衰退していく街の商店街に活気を取り戻そうと魅力のあるまちづくりを進めています。

中心市街地衰退の要因の一つに、車社会の進展が挙げられています。駐車場の完備された大型店が郊外に進出したことにより、人の流れは街の外側に向かってしまいました。

市内を走る路線バスは、商店街に近い

環境に与える影響

JR富士駅や吉原中央駅を中心に、市街地を走っています。路線バス利用者が多かったところは、商店街も人でにぎわっていました。路線バスを見直し、魅力のあるまちづくりを行うことは、街の活性化にもつながっていきます。

車社会と地球環境の関係

テレビや雑誌などで、文明の発達による生活様式の変化が、地球環境に悪

影響を及ぼしているという話を聞いたことがありますか。車社会の発達も例外ではありません。自動車を運転すると出る排出ガス。その中には、地球環境や人の健康に害を与える物質が含まれています。

片道十キロメートルの自動車通勤をバス通勤にすると、地球温暖化に影響を及ぼす温室効果ガスを一年間で一人当たり、約一・二トンも削減できます。私たちの住む街を守るためにも、車社会について、考え直さなければならぬときがきているようです。

路線バスを身近に感じられるように

現在、ほとんどの市民にとって、路線バスはどこか遠い存在のようです。

路線バスをもっと身近に感じてもらうとする取り組みが行われていることをご存じですか。

将来に目を向けた「こども交通まちづくり計画」



市内を走る公共交通を知ってもらおうと10月16日に実施された「1day tripチャレンジャー」

多くの子どもは乗り方を知らない路線バスに乗ったことのない子どもがふえています。大人がバスに乗らないため乗る機会がなく、路線バスの乗り方さえも知らないそうです。その子どもたちが成長し大人になったとき、路線バスを利用するでしょうか。このままでは、この先ますます路線バス利用者は減少してしまいます。

そこで市では、「こども交通まちづくり計画」として、県内で初めて路線バスなどの公共交通に親しみを持ってもらうための事業を行っています。

富士南小学校では、6年生が総合学習の時間に、バスの役割や重要性などを自分たちで考え、発見する授業を行いました。





中心市街地を走る ひまわりバス

百円玉一枚で乗れる循環バス

ひまわりバスは、市民の身近な存在としてバスに親しみを持ってもらおうと、富士急静岡バスが平成十一年から運行を始めました。ひまわりバスは、路線バスの利用促進だけでなく、商店街などを通るため、街の活性化にもつながっていくことが期待されています。町中を循環するバスは、どこまで乗っても百円。路面とバスとの段差が少なく、すべての人にとって優しいバスです。

現在は、富士駅を起点に循環していますが、ことしの十二月からは、吉原中央駅を起点としたコースの運行が始まります。この新コースは、富士急静岡バスや市の意向だけでなく、地域住民の皆さんの意見も聞き、より利用しやすくなるよう考えられました。また、西部循環バスについても、皆さんが利用しやすいように、コース変更などを検討しています。ひまわりバスが走る地域に行くときは、利用してみませんか。

ひまわりバスのバス停

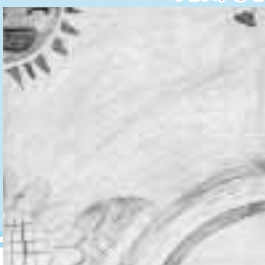


ひまわりバス路線地図



「ひまわりちゃん」

「元気号」



かわいい新型バスが登場
新コースの運行開始に合わせ、ことし十二月からは、かわいい新型バスが登場します(右写真)。また、ことしの九月には、ひまわりバスのロゴマーク・キャラクターも募集しました。十月中旬に選考会が行われ、百四十二の応募作品の中から、今泉小学校の木内啓介さんの「元気号」と、柚木にお住まいの三枝真澄さんの「ひまわりちゃん」の二作品が選ばれました。
これから、どのようなひまわりバスが走るのか楽しみですね。



市民一人一人が
年一回乗るだけでも
バス事情は変わります



東京工業大学助教授
藤井 聡さん

車社会の進展に伴い、路線バスは苦しい状況に陥っています。これは全国的に同じ傾向にあります。

東京など都市に行く路線バスがたくさん走り、利用者が多いことに気づくかと思えます。富士市と都市の違いはどこにあるのでしょうか。それは、ある一定以上の人がバスを使っているということ。バスは共同で乗る乗り物です。みんなが頻繁に使う路線は運行本数がふえるなど、ますます利便性が高くなります。逆に、利用者が少ない路線は運行本数が減り、ますます不便になっていきます。路線バスが、

よい方、悪い方、どちらに向かっているかは利用者数にかかっています。

十万人以上の都市であれば、すべての市民が年に最低一回バスを利用するだけでも、その街のバス事情は変わってきます。ふだんの生活の中でバスを利用できる機会があるはず。自動車をやめて、いつもバスを利用しなければならぬというのではありません。「バスなんて」という考えを変えて、路線バスに乗ることで自分はずっといいことをしている、街に貢献しているという前向きな思いを抱いてほしいですね。

路線バスをみんなで守っていく

バスなどの公共交通を
「動く公共施設」と
位置づけています



都市整備部長
秋山 幸男

市では、バスなどの公共交通を「動く公共施設」として位置づけ、いかによりよい市民サービスを提供していくかを考えています。

今までは、施設や道路など動かない公共施設に重点を置いてきました。しかし道路整備には、ばく大な時間と費用がかかります。都市計画道路のうち、現在整備が終わっている道路は約四〇%です。今後、残りの道路を整備するためには、三千億円あまりもの費用がかかるの見込まれています。

今後は、公共交通の整備がまちづくりの大きな鍵となり、市民の皆さんに

もつと関心を持ってもらうことが必要になってきます。

そのため市では「公共交通検討会議」を設置し、事業者や市民などいろいろな立場の人が集まり、これからの交通のあるべき姿について考えています。また、未来のまちづくりの主役となる子どもに、今のうちから公共交通の必要性を身につけてもらえるような機会を設けています。

バス路線を支援することは、バス事業者を助けるという視点だけではなく、私たちの街を住みやすくするために必要な取り組みだと考えています。

市内を走る現在の路線バスには不便さがあります。でもその不便さは、一人でも多くの人を利用することによって確実に解消されます。

路線バスはみんなで守っていくべきものだとだれもが認識すること。まずはそこから始まるのではないのでしょうか。富士市を住みよい街にするために、私たちの足となる路線バスに目を向けてみませんか。

問い合わせ

都市計画課 ☎ 五五二七七八五

☎ 五三一七七七三

平成十六年度 富士市地域社会 貢献者褒賞表彰

市は、コミュニティ活動をはじめ、社会福祉、文化・スポーツ、女性・青少年の指導育成、保健衛生・環境衛生、防災・防火・防犯交通安全、善行などの活動で地域社会に貢献している市民・団体を対象に地域社会貢献者褒賞制度を設けています。
 ことは十一月十日（水）に口ゼシアターで十人一団体が表彰されます。

コミュニティ活動



わたなべ けんじろう
渡邊 恵三郎さん
(石坂)

昭和六十三年四月、石坂二丁目町内会長に就任。富士市町内会連合会副会長、富士環境衛生自治推進協会副会長などを歴任し、地域の自治振興などに大きく貢献されました。

コミュニティ活動



すずき みつよ
鈴木 光代さん
(今泉2)

平成元年四月、今泉地区生涯学習推進会総務部副部長に就任。今泉地区生涯学習推進会会長、富士市生涯学習推進会連合会副会長などを歴任し、生涯学習活動の向上などに大きく貢献されました。

社会福祉活動



すずき としお
鈴木 としおさん
(国久保2)

昭和五十七年四月、民生委員児童委員、昭和六十一年十一月、保護司に就任。富士地区保護司会広報部副部長、富士地区更生保護婦人会会長などを歴任し、市民の更生及び地域福祉の向上に大きく貢献されました。

社会福祉活動



おお たしょうどう
太田 昭道さん
(中野)

昭和五十一年八月、保護司に就任。富士地区保護司会覚せい剤対策部長、同会大淵支部長、富士地区薬物乱用防止指導員協議会会長などを歴任し、地域福祉の向上と安全に大きく貢献されました。

社会福祉活動



やまもと いさぶろう
山本 伊三郎さん
(今泉)

昭和五十一年十月、民生委員児童委員に就任。広見地区民生委員児童委員協議会会長、神戸・青葉台地区民生委員児童委員協議会会長などを歴任し、地域福祉の向上に大きく貢献されました。

社会福祉活動



せりざわ まさし
芹澤 正志さん
(厚原)

昭和六十一年五月、保護司に就任。富士地区保護司会副会長、同会総務部長などを歴任し、積極的な福祉活動に努めるとともに、市民の更生及び地域福祉の向上に大きく貢献されました。

社会福祉活動



いけ かずえ
池田 和枝さん
(今泉8)

昭和五十七年十一月、保護司に就任。富士地区保護司会女性部長、同会研修部副部長などを歴任し、積極的な福祉活動に努めるとともに、市民の更生及び地域福祉の向上に大きく貢献されました。

社会福祉活動



なが およしひろ
長尾 芳弘さん
(大淵)

昭和五十四年五月、民生委員児童委員に就任。大淵地区民生委員児童委員協議会会長として積極的な福祉活動に努めるとともに、会の発展と地域福祉の向上に大きく貢献されました。

交通安全活動



かとう しょうさく
加藤 昭作さん
(松岡)

昭和五十八年六月、富士市交通安全指導員に就任。富士市交通安全全指導員会岩松地区幹事として、交通事故防止に努めるとともに、会の発展と交通安全思想の普及に大きく貢献されました。

交通安全活動



かねざし たけし
金指 武さん
(本市場)

昭和六十二年六月、富士市交通安全指導員に就任。富士市交通安全全指導員会安全教育部長などを歴任し、会の発展と交通事故防止及び交通安全思想の普及に大きく貢献されました。

文化・スポーツ活動



富士子ども劇場

昭和五十七年七月、舞台芸術鑑賞を通じ、親子の育ち合いの場をつくることを目的に創設。舞台芸術鑑賞例会、自主活動の子どもまつりなどの多彩な活動により、富士市の文化振興と青少年の健全育成に大きく貢献されました。



アートオリンピックで
アポロン賞を受賞した

川原 善次郎さん
(今泉)



受賞作の「天竜寺蓮池」

とし三月、オリンピック精神に基づき、芸術を通じ平和へのメッセージを世界へ発信する事業として、「美と平和の祭典・アートオリンピックinアテネ」現代日本芸術名作展」が、ギリシアのアテネ市で開催されました。川原さんは、日本画部門で最高の賞であるアポロン賞を見事受賞しました。

川原さんは、新興美術院の会員で、新興展に出した天竜寺蓮池が、アートオリンピック出展作品を選んでいたアテネ市担当者の目にとまり、推薦を受けました。川原さんは、「中学生時代から絵をかくことは好きでしたが、日本画を始めたきっかけは、公民館の成人講座に通うようになってからです。作品の制作は、だいたい仕事が終わってからなので、一日に二〜三時間です。日本画は、一つの場所に五〜六回、薄く重ね塗りをします。濃い色から薄い色に塗りがえていくことによって、絵に奥行きが出てきます。同じ重ね塗りでも、前の色を隠す油絵とは全く異なりますね。また、同じ色を出すのにも、にかわ液の量で個人個人で差が出るので、とてもおもしろいです。今は、神社・仏閣をかくことが多いのですが、今後は、風景や花のような身近な物を描いていきたいですね」と語ってくれました。



「LIM・SC・ちゃっかり娘？」エアロビックス全国大会初出場

十月三日・四日、福井県あわら市で開催された、第十七回全国スポーツ・レクリエーション祭エアロビックス大会に「LIM・SC・ちゃっかり娘？」が静岡県代表として初出場。県下で初となる、最優秀賞・優秀賞に次ぐ、あわら市民賞を受賞しました。エアロビックスとは、エアロビックスダンスのこと。有酸素運動の一つで、音楽に合わせて体を動かします。大会には、四十五チームが参加し、一チーム三〜五人で構成。年齢は二十代から六十代まで幅広く、技術よりもチームワークのよさや一体感が求められます。リーダーの村上さんは、「昨年は、三人のチームで出場しましたが全国大会へは進めませんでした。十メートル四方のステージをいっばいに使い踊るので、ある程度の迫力が必要となります。そのため、ことしは四人にふやして参加し、全国大会への切符を手にする事ができました。大会では、男性五人のチームや男女混合チームもありました。中でも一番印象的なのは、六十七歳の女性がいるチームが優秀賞を受賞したことです。私たちもその歳まで頑張りたいと思いました。全国の人と知り合いになれたり、世代を超えての交流があったりと、とても楽しかったです」と話してくれました。ほかのメンバーは、エアロビックスの魅力について、「体を動かすことでストレス解消につながります。」「左右対称の動きをするので、姿勢がよくなるなどきれいな体づくりができます。」「運動が苦手な人でも踊りが好きなら大丈夫です。競技人口はまだまだ少ないので、これを機にふえてくれるといいですね」と話してくれました。有酸素運動…人と話ができるくらいの強度で、軽く汗が出る程度の運動のこと。



「LIM・SC・ちゃっかり娘？」の皆さん

催し

女性ネットワーク・富士 レディース・フェスタ2004

☎ 男女共同参画課 55-2724

講演会や女性団体の活動発表、バザーなど盛りだくさん。気軽にお越しください。

とき 11月28日(日) 9:30～

ところ フィランセ西館4階大ホール
内容

記念式典(9:30～10:00)

講演会(10:10～11:30)

テーマ「地域と女性と笑顔のパワー」
～23年のふれあいと実践活動から～
講師 飯野紀代子さん(みらい子育てネット静岡県会長)

活動発表・展示

手づくり総菜・菓子・小物などの
地場産品バザー(11:40～)

参加費 無料

申し込み 当日直接会場へ

パートタイム労働ガイダンス 及び労働相談会

☎ 商業労政課 55-2778

パートで働きたい人、既に働いている人を対象に就職のためのプランづくりのお手伝いをします。

とき 12月3日(金) 13:30～15:30

個別相談 15:30～

ところ ラ・ホール富士7階AVルーム

内容 パートタイムの現状、自分に合った職場の見つけ方、パートタイム労働法、社会保険制度、税金など

定員 45人

参加費 無料

申し込み 12月2日までに電話またはFAXで商業労政課(☎51-1997)またはハローワーク富士(☎51-2151 ☎52-7743)へ

イベント、お出かけ情報など

ガイド
耳より情報
☎53-1111

単親家庭の会「クリスマス会」

☎ 社会福祉協議会 64-7100

とき 12月12日(日) 10:00～13:00

ところ フィランセ西館4階ホール

内容 ゲーム、歌、レクリエーションなど

対象 母子・父子家庭や両親のいない児童を扶養している家庭で現在会員、または会員登録できる人

定員 80人

参加費 1人300円(お土産つき)

申し込み 11月29

日までに、はがきに参加者全員の氏名、住所、電話番号を記入し、〒416-8558 社会福祉協議会へ



「暮らしの道具のうつりかわり」展

☎ 市立博物館 21-3380

とき 11月20日～12月23日

9:00～16:30

ところ 市立博物館

内容 身の回りにある道具の移り変わりを展示

入館料 大人100円 小人50円

休館日 毎週月曜日、11月24日(水)

ふれあいフェスティバル

☎ シルバー人材センター 53-1150

とき 11月23日(火) 9:30～15:00

ところ シルバー人材センター

内容 作品展、チャリティーバザー、手芸品の即売会、お飾りづくり・和紙絵画・手まりづくりの実演、障子張り、網戸張りなど

さわやか健康体操教室

☎ スポーツ振興課 55-2876

ところ	と	き(計10回、祝日・休講日除く)	定員	
市立富士体育館	1月12日～3月16日	毎週水曜日 10:00～11:00	60人	
	1月14日～3月25日	毎週金曜日 9:30～10:30 10:45～11:45	各60人	
元吉原公民館	1月17日～3月28日	毎週月曜日 9:30～10:30 10:45～11:45	各40人	
	1月13日～3月24日	毎週木曜日 10:00～11:00	40人	
広見公民館	1月11日～3月15日	毎週火曜日 9:30～10:30	40人	
	1月14日～3月25日	毎週金曜日 9:30～10:30 10:45～11:45	各40人	
鷹岡公民館	1月17日～3月28日	毎週月曜日(ただし2/24のみ木曜日実施)	9:30～10:30 10:45～11:45	各55人
天間公民館	1月12日～3月16日	毎週水曜日 10:00～11:00	50人	
須津公民館	1月13日～3月17日	毎週木曜日 9:30～10:30 10:45～11:45	各40人	
田子浦公民館	1月13日～3月17日	毎週木曜日 9:30～10:30 10:45～11:45	各40人	
富士見台公民館	1月13日～3月17日	毎週木曜日 9:30～10:30 10:45～11:45	各40人	
富士北公民館	1月20日～3月24日	毎週木曜日 10:00～11:00	40人	
丘公民館	1月11日～3月15日	毎週火曜日 10:00～11:00	40人	

各応募者多数の場合抽せん。また同会場内で人数調整があります。

内容 ストレッチ体操、リズム体操、レクリエーション

対象 市内在住で60歳(平成17年1月1日現在)以上の人

受講料 1,000円(受講決定後、指定口座番号に納入してください。納入方法は、受講決定通知にてお知らせします)

申し込み 12月3日(必着)までに、往復はがきに会場名(曜日・時間)、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し、〒417-8601 富士市教育委員会スポーツ振興課へ

11月の水道料金・下水道使用料

納入期限 11月30日(火)

(納入通知書は、今月中旬に郵送します)

口座振替日 11月29日(月)



納入は2か月に1度です(地区によって納入月が異なります)

～納入は便利で確実な口座振替で～

市指定金融機関の窓口で直接お申し込みください。

持ち物 通帳・印鑑(届印)・水栓番号(各世帯配布の「使用水量等のお知らせ」に記載) 申込書は金融機関にあります。

問い合わせ 水道部営業課 55-2846

暮らしの たより

お知らせ

母子家庭等 医療費助成の手続を

☎ 児童福祉課 55-2763

12月1日から制度改正により対象年齢が拡大されますので、新しく母子家庭等医療費助成制度に該当する場合(下記の～のすべて)は申請をしてください。

母子・父子家庭、両親のいない家庭、配偶者に重度の身体障害がある家庭(障害者手帳もしくは障害年金証書を持参)

20歳未満(平成16年12月1日以降)の児童を扶養している家庭

平成15年中の所得に所得税が課せられていない家庭

手続方法 11月26日～30日に申請書(市役所から郵送された人)印鑑、保険証、預金通帳を持参し、児童福祉課へ

乳幼児の発達相談

☎ こども療育センター 21-9482

0歳～就学前の子どもの運動や言葉などの発達について、専門職員が相談に応じます。

対象 市内在住の人

申し込み 月～金曜日の

8:30～17:15に、電話で

こども療育センターへ



第38回 富士市展図録の発刊

☎ 文化振興課 55-2874

本年度の富士市展(書道・写真・工芸・絵画・彫刻)の図録を発刊しています。

発刊部数 1,000部

配布場所 文化振興課(市役所7階)

図録代金 一冊200円(税込み)

11月の教育委員会会議

11月定例会を次のように開催します
(傍聴できます)

とき 11月18日(木) 9:30～

ところ 市役所8階政策会議室

☎ 教育総務課 55-2865

届出者の本人確認にご協力を!

☎ 市民課 55-2747

転出届や転入届などの住民異動届を、本人が知らない間に第三者によって届出される事件が全国的に発生しています。

そのため市では、11月1日から届出人などの本人確認を実施しています。

対象となる届出

他市町村への住民異動(転出)

他市町村からの住民異動(転入)

市内での住所変更(転居)

世帯合併、世帯分離、世帯変更など

対象者

窓口届出書を持ってきた人(代理人含む)

届出の際に持参する物(例)

官公署発行の身分証明書(運転免許証、パスポート、住民基本台帳カードなど)

健康保険証、年金手帳、病院の診察券など

広報ふじ記載内容

FAXでのお問い合わせについて

☎ 広報広聴課 55-2700

広報ふじに記載されている内容で、FAX番号が記載されていないものについてのお問い合わせは広報広聴課へお願いします。 ☎51-1456



募集

ファミリー・サポート・センター 交流会の参加者

☎ ファミリー・サポート・センター 66-4128

仕事と育児の両立支援活動を行っている会員の交流会に参加してみませんか。

とき 11月27日(土) 10:00～11:30

ところ フィランセ西館4階大ホール

内容 地区別懇談会、アトラクションなど

対象 会員及び会の活動に関心のある人

申し込み 11月25日までに電話でファミリー・サポート・センターへ

ニコニコクラス参加者

☎ 中央病院4A病棟 52-1131 内線 2430

双子の妊娠・出産・育児の教室に参加してみませんか?

とき 12月4日(土)、平成17年1月22日(土) 各10:00～12:30 計2回

ところ 中央病院2階大会議室

内容

産婦人科医師の講義、交流会

体験談、だっこ、おむつ交換の練習

病棟見学

対象 双子の妊婦さんとその家族(夫・祖父母)で2日間とも参加できる人

参加費 無料

申し込み 11月26日までに電話で中央病院4A病棟へ

いちばの朝市

フリーマーケット出店者

☎ 公設地方卸売市場 53-5611

「いちばの朝市(下記参照)」フリーマーケット広場への出店者を募集します。

対象 市内在住・在勤・在学の20歳以上の人(業者不可)

対象商品 衣類・雑貨などの不用品、リサイクル用品

食品(缶詰など含む)は不可。また、市場内取扱商品と重複する場合、不可となる場合があります。

定員 10～20店舗程度(応募者多数の場合抽せん)

出店料 1店舗500円(当日徴収)

申し込み 随時募集します。ただし、11月28日(日)に出店を希望する人は、11月19日までに電話で公設地方卸売市場へ

いちばの朝市

とき 11月28日(日) 7:00～11:00

11月から毎月第4日曜日に開催していきます。

ところ 公設地方卸売市場

内容 青果物・水産物、日用品、雑貨など市場内で取り扱っている商品の販売、お楽しみコーナー(カニみそ汁無料サービスなど)

公設地方卸売市場 ☎53-5611



ベルローゼ&MAU
ハンドベルコンサート
 と き 11月27日(土)
 開場18:00 開演18:30
 ところ ロゼシアター小ホール
 入場料 500円
 問い合わせ 土屋 方 ☎51-5448

少年少女レスリング教室
 と き 毎週水曜日(19:00~21:00)
 ・土曜日(18:30~21:00)
 ところ 吉原工業高校格技場
 内容 マット運動、タックルなど
 対象 4歳~中学3年生の人
 受講料 月2,000円
 スポーツ保険料 年1,000円
 申し込み 当日直接会場または電話
 で松井 方へ ☎21-4790
 (携帯090-1277-4184)

来年1月からの子育てサークル
 「SWEET ANGEL PETIT」メンバー募集
 と き 初回 平成17年1月14日(金)
 10:00~11:30
 ところ フィランセ西館3階和室
 対象 生後3か月から1歳未満の
 子と母親
 定員 20組(先着順)
 会費 月50円
 申し込み Eメールで深澤 方へ
 ☎sweet-angel@c.vodafone.ne.jp
 1歳からの「SWEET ANGEL」
 も若干人募集中です。

リトミックサークル会員募集
 親子で音楽に合わせて歌ったり踊っ
 たりして遊びながら楽しめます。
 と き 月3回 月曜日 10:00~11:50
 ところ 富士北公民館
 対象 1歳~3歳の未就園児とそ
 の保護者
 会費 月2,000円
 スポーツ保険料 年1,000円
 申し込み・問い合わせ
 日吉 方 ☎090-8542-0475

「過労死」などの無料相談
 長時間労働・ストレスなどにより、
 健康に不安がある人は気軽に相談し
 てください。
 相談内容 仕事と脳・心臓疾患及び
 精神障害、過労死などと労災認定、
 労災請求手続など
 相談方法 8:30~17:00(土・日・祝日
 除く)に、直接または電話・郵送で〒
 420-0033 静岡市昭和町10-6富士岡第
 1ビル2階(助)労災年金福祉協会静
 岡労災年金相談所へ ☎054-254-6225

二次健康診断給付を利用しましょう
 労災保険では、労働者の業務上の
 事由による脳・心臓疾患の発症を予
 防するため、一次健康診断で、次の
 すべての検査において異常な所見が
 認められた場合に、より精度の高い
 健康診断(二次健康診断)と保健指
 導にかかる費用を給付しています。
 血圧の測定 血中脂質検査
 血糖検査 肥満度の測定
 問い合わせ 静岡労働局労災補償課
 (☎054-254-6369)または富士労
 働基準監督署(☎51-2255)へ

交通遺児育成基金のご案内
 この育成基金制度は、交通事故で
 親を失った子どもが、損害賠償金な
 どの中から拠出金を払い加入すると、
 これに国や民間からの援助金を加え
 て安全・確実に運用し、満19歳に達
 するまで育成給付金を支給するもの
 です(加入は満11歳未満の遺児)。
 問い合わせ (財)交通遺児育成基金
 ☎0120-16-3611
 http://www.kotsuiji.or.jp

仕事と育児・介護の両立支援
「フレイフレー・テレフォン静岡」
 育児・介護などに関する各種サー
 ビスについての相談の受付、地域の
 具体的な情報を無料で提供します。
 相談内容

育児関係
 公立・私立保育所、認可外保育施
 設、保育サポーター、ベビーシッ
 ター、家庭的保育、幼稚園、放課
 後児童クラブなど
介護関係
 民間ホームヘルパー、看護師・家
 政婦(夫)紹介所、老人ホーム、介
 護用品、高齢者向け福祉サービス
 など
家事代行関係
 家政婦(夫)紹介所、家事代行サー
 ビスなど
 相談方法 9:30~16:30(土・日・祝
 日除く)に、電話でフレイフレー
 ・テレフォン静岡へ
 ☎054-288-2020
 インターネットでも情報をごらん
 になれます。
 http://www.2020net.jp

11月の休日当直医

Emergency Hospitals Schedule in November
 Lista de Pronto Socorro em Novembro

内科・小児科・外科 Internal Medicine/Pediatrics/Surgery Clinica Geral/Pediatria/Cirurgias
 救急医療センター ☎51-0099 津田 平日19:00~翌8:00 土曜日14:00~翌8:00 日曜・祝日 9:00~翌8:00
 歯科 Dentistry Dentistas
 歯科医師会館 ☎53-5555 伝法 9:00~16:00
 ダイアル当直医案内 ☎51-9999

とき 産婦人科 Gynecology & Obstetrics
 Gineco-Obstetrica
 7(日) たむらレディースクリニック 65-7777 米之宮町
 14(日) 中島産婦人科医院 51-4188 青島町
 21(日) 長谷川産婦人科医院 53-7575 吉原5
 23(火) 宮崎クリニック 66-3731 松岡
 28(日) 池田産婦人科医院 21-2228 石坂

眼科 Ophthalmology
 Oftalmologia
 杉浦眼科 65-8500 川成新町
 花崎眼科医院 66-0100 青葉町
 加藤医院吉原分院 57-3000 中央町1
 長野医院 60-7100 柚木
 阿部眼科医院 61-5810 柚木

耳鼻科 Otorhinolaryngology
 Otorrinolaringologia
 わたなべ耳鼻科 65-6787 松岡
 崎川医院 975-9131 清水町
 ぬまづ島田医院 924-0780 沼津
 島田医院 987-2259 長泉町
 かみでクリニック 53-3321 伝法

11月の柔道整復師会 休日当直当番



柔道整復 Bonesetter
 Clínica de osteopatia
 下村接骨院 35-3663 大淵
 渡辺接骨院 61-0548 富士町
 二宮整骨院 53-8833 伝法
 高橋接骨院 53-8751 石坂
 望月接骨院 61-2090 平垣

暮らしの たより

講座教室

各種スポーツ教室

☎ 施設利用振興公社 36-2131

第4回 女性水泳教室

とき 平成17年1月14日～3月25日(2/11除く) 毎週金曜日
計10回 10:00～11:30

ところ 温水プール

対象 一般女性

定員 35人(応募者多数の場合抽せん)

受講料 5,500円

第10回 エアロビクス教室

とき 平成17年1月7日～3月18日(2/11除く) 毎週金曜日
計10回 19:00～20:30

ところ 温水プール研修室

対象 一般

定員 30人(応募者多数の場合抽せん)

受講料 4,000円

第11回 エアロビクス教室

とき 平成17年1月11日～3月15日 毎週火曜日 計10回
19:00～20:30

ところ 温水プール研修室

対象 一般

定員 30人(応募者多数の場合抽せん)

受講料 4,000円

..... ~ とも

申し込み 12月5日(日)の8:30～9:00
に、本人が受講料を持参し、
温水プールへ
は申し込み時に印鑑が必要です。

第4回 富士市環境シンポジウム

☎ 環境政策課 55-2902

とき 12月4日(土) 13:15～16:45

ところ ロゼシアター中ホール

内容

基調講演(13:20～14:30)

テーマ「水と緑に生かされて」

講師 幸田シャーマンさん(ジャーナリスト、地球環境戦略研究機関理事)

環境活動発表(14:50～15:20)

表彰式(15:20～15:40)

廃棄物減量化等推進審議会中間報告(15:40～16:40)など

入場料 無料

申し込み 11月29日までに、申込書(環境政策課または各公民館で配布)に必要事項を記入し、郵送またはFAXで、〒417-8601 富士市役所環境政策課へ ☎51-0522

転職者のための 再就職準備OA教室(初心者向け)

☎ 商業労政課 55-2778

とき 12月7日(火)～10日(金)・14日(火)～17日(金) 14:00～16:00
計8回

ところ ラ・ホール富士7階OALーム

内容 パソコンの基本操作、インターネットの利用法など

対象 一たん退職し、現在求職活動をしている人

定員 20人(応募者多数の場合抽せん)

受講料 2,000円

申し込み 11月25日までに電話で商業労政課へ



犬とねこの飼い方教室

☎ 環境衛生課 55-2768

とき 12月9日(木) 13:30～16:00

ところ 県富士総合庁舎2階201会議室

内容 犬や猫の飼い方、健康管理、関係法令と首輪への名札・鑑札の取りつけ実技

対象 これから犬や猫を飼う予定のある人、既に飼っている人及び興味のある人

定員 20人(応募者多数の場合抽せん)

受講料 無料

申し込み 12月3日(必着)までに、往復はがきに住所、氏名、電話番号、動物の種類(犬・猫)、動物の名前・性別・年齢と現在困っていることを記入し、〒416-0906 本市場441-1 富士保健所動物保護第2指導班へ

犬や猫は連れて来ないでください。

12月4日～10日は 人権週間です

育てよう 一人一人の人権意識

- 身近なことから

人権を考えてみませんか -

静岡地方法務局富士支局 ☎53-1200

ビデオ広報「ふじ広報室」 ケーブルテレビ3チャンネルで放送中

☎ 広報広聴課 55-2700

放送時間 7:00～7:15
11:00～11:15
月～金曜日 20:30～20:45

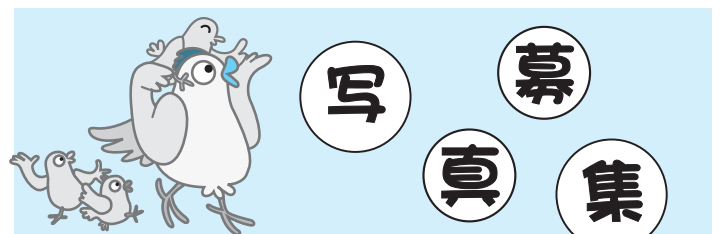
我が家のアイドル



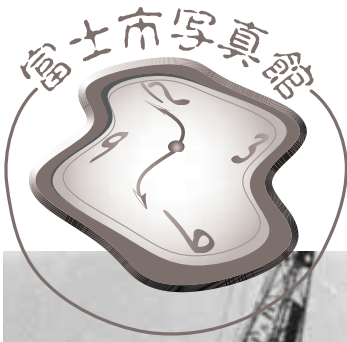
大川 輝瑠ちゃん H15.4.5生
父・信二 母・真妃(広見西本町)
「車大好き。ハンドルだつて回せるよ」



渡辺 正駿ちゃん H13.5.19生
諒人ちゃん H15.9.23生
父・正範 母・真弓(天間)
「新幹線を見に行つたよ! 車掌さんになりました」



就学前の子どもの名前、生年月日、保護者の名前、住所、電話番号、25字以内のメッセージを添えて、直接または郵送で〒417-8601 富士市役所広報広聴課へ(写真はお返しできません)



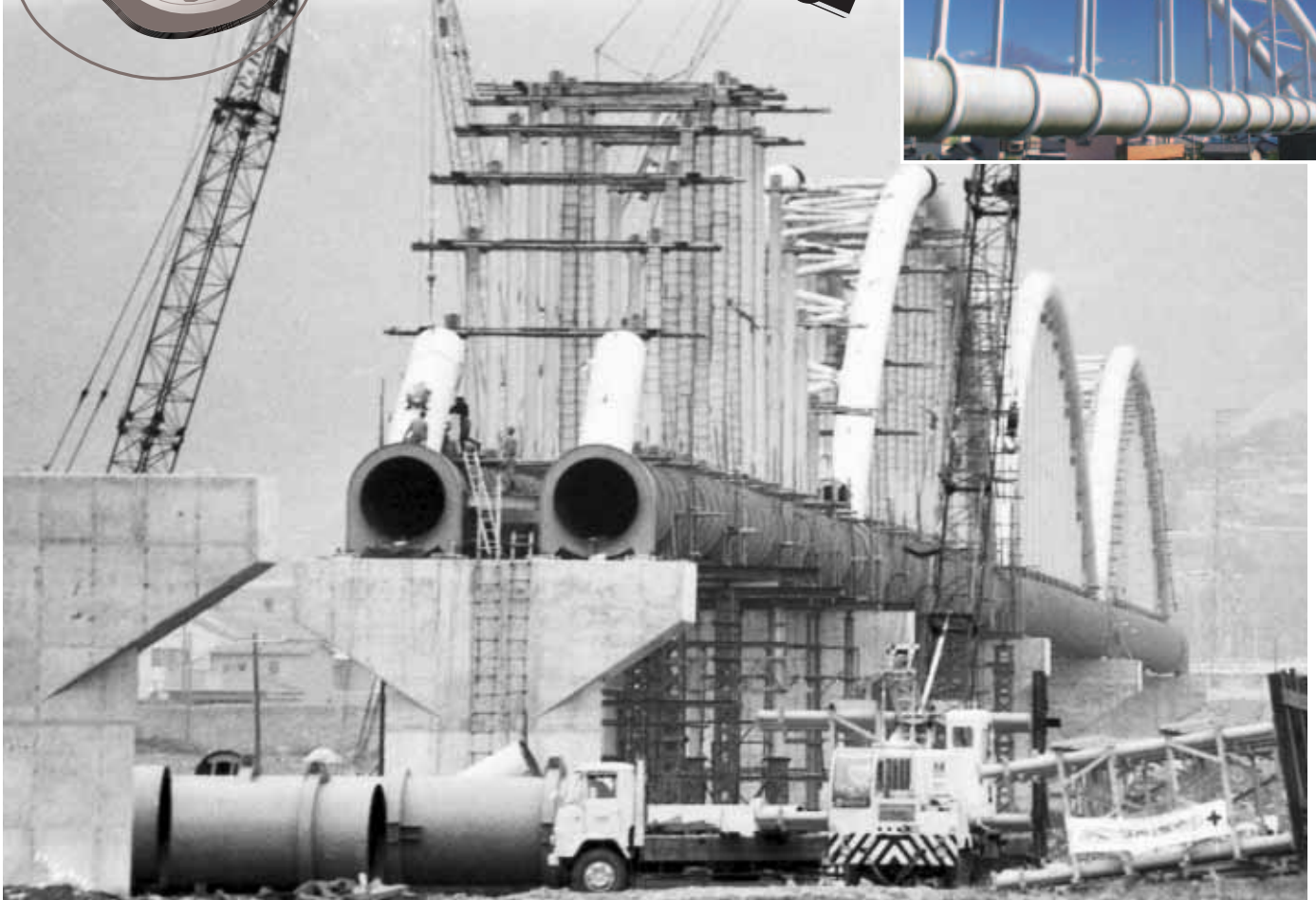
= 17 =

東駿河湾工業用水道 富士川水管橋建設

昭和44年11月



現在、富士川にかかる水管橋の様子



東駿河湾工業用水道

富士川にかかる水管橋は、東駿河湾工業用水道の一部です。この工業用水道は、富士川水系を源とする企業の放水路（蒲原町）より取水し、地下水の保全、市内の工場へと水を供給することを目的としています。昭和四十六年十二月から給水が開始され、一日約六十八万トンの給水能力があります。

地下水の保護と工業の発展を考え

昭和三十年代後半、吉原地区から吉永地区方面にかけて、工場の井戸水に塩水化現象があらわれました。当時、地下水はまだ豊富にあるとの風潮でしたが、適正量を超えた使用により塩水化してしまつた井戸は、元に戻らないことが判明しました。そこで、製紙業を中心とする用水型企業は、全国に先駆け井戸新設などに自主規制を始めました。

一方、市の将来や工業の健全な育成・発展を考えると、工業用水の確保が必要でした。そのため、「東駿河湾工業用水道協力会」が発足、富士川に水管橋がかかることになりました。私には今でも水管橋が伸びゆく富士市の象徴に見えますね。



当時、水管橋建設に携わった

小澤 義弘さん (原田)

こちら編集室

今回の表紙を飾ったイベントに同行取材をしました。岳南鉄道や路線バス、ひまわりバスなどさまざまな公共交通に乗ることができました。

久しぶりに乗った岳南鉄道は整理券を取る方式になっていて、まるでバスのような様子でした。新しい発見やふ

だんとは違う風景に、子どもたちと一緒に自分も楽しんでしまいました。公共交通には「ふだんあまり乗らない」と話していた子どもたち。乗り物に乗る楽しさや、ほかの乗客とのふれあいなどを子どもたちにもっと味わってほしいなあと思います。

人口	243,380人 (前月比+7)
男	120,861人 (+12)
女	122,519人 (-5)
世帯	86,323世帯 (+34)

10月1日現在
編集・発行 富士市総務部広報広聴課
〒417-8601 静岡県富士市永田町1-100
☎0545-51-0123(代) ㊟0545-51-1456



平成十六年十一月五日号(毎月五日・二十日発行)

ホームページ <http://fujishi.jp/>

広報ふじは環境に優しい古紙100%の再生紙と大豆油インキを使用しています